

平成27年度 第1回 研究評価委員会

開催日時

平成27年9月7日（火）13～17時15分

事前評価対象課題と評価結果

| 課題名 | 必要緊急性 | 新規獨創性 | 達成の可能性 | 期待される成果 | 合計 |
|---|-------|-------|--------|---------|------|
| (1)「肝機能等の健全性保持による代謝病予防肥育技術の開発」 (平成28～30年度: 大家畜研究課) | 4.0 | 3.3 | 3.7 | 4.3 | 15.3 |
| (2)「OPU-IVF(経膈採卵-体外受精)技術を活用した効率的和牛胚生産技術の開発」 (平成28～30年度: 家畜改良繁殖研究課) | 4.0 | 4.3 | 4.0 | 4.3 | 16.7 |

評価委員総括意見から

(1)「肝機能等の健全性保持による代謝病予防肥育技術の開発」

研究の前提条件、事前調査、現状とデータの裏付けを把握することは重要。
技術、研究を明確にして研究に取り組むこと。

(2)「OPU-IVF(経膈採卵-体外受精)技術を活用した効率的和牛胚生産技術の開発」

みえ生まれみえ育ちの肉牛は、将来ブランド化の可能性がある。
新技術を安定的に普及させること。
受精卵移植など新技術の消費者の理解・支持が必要。

中間評価対象課題と評価結果

| 課題名 | 進捗状況 | 得られた成果 | 目標達成の可能性 | 課題の取扱い | 合計 |
|--|------|--------|----------|--------|------|
| (3)「県特産物を利用した新たなプライベートブランド豚肉の開発」 (平成26～28年度: 中小家畜研究課) | 4.7 | 4.7 | 5.0 | 4.0 | 18.3 |

評価委員総括意見から

(3)「県特産物を利用した新たなプライベートブランド豚肉の開発」

カステラを給与した豚肉、高評価が得られた。
期間限定のブランド豚肉として販売する手法もある。